

iTunesのバックアップ先を変更する2つの方法

[Home](#) » iTunesのバックアップ先を変更する2つの方法

★★★★★ (122 の投票、平均： 3.70 / 5)

iTunesでiPhoneやiPadのバックアップを行う場合、バックアップデータはCドライブの特定の場所に保存されます。基本的にこの場所は変更できませんので、バックアップを続けているとCドライブの容量が無くなっていく場合があります。これはiOSバックアップデータのサイズが非常に大きいからです。

iPhoneのバックアップをiCloudで保持することができます。クラウドにバックアップする手順はすごく簡単ですが、その代わり無料のストレージは5GBまでしかなく、足りなくなる場合がほとんどです。それ以上のバックアップをするなら、iTunesしかないです。

こちらの記事では、iTunesで作成したiPhoneまたはiPadのバックアップ先をCドライブ以外の保存先に設定する方法を紹介します。

手でバックアップ場所を変更するのは非常に手間のかかる作業ですが、CopyTrans Shelbeeを使うと、簡単にiPhoneのiTunesバックアップ先を外付けHDDや他のドライブへ変更することができます。CopyTrans TuneSwiftを使うと、iOSバックアップを含め、iTunesライブラリ全体を移行することができます。

- [iTunesのバックアップを確認・削除](#)
 - [iTunesでバックアップを確認・削除](#)
 - [iTunesのバックアップ場所。フォルダでバックアップを削除](#)
 - [バックアップを確認できるソフトウェア](#)
- [iTunesバックアップ先を変更する理由](#)
- [【自動的】 iTunesのバックアップ先を変更](#)
- [【手動的】 iTunesのバックアップ先を変更](#)

iTunesのバックアップを確認・削除

iTunesを起動する度にバックアップが自動的に作成されます。そのバックアップを保管するには、大分の容量がかかります。PCの空き容量を増やしたい場合は、不要のバックアップを削除できます。

こちらではバックアップの有無と最新のバックアップが作成した日付をiTunesで確認する方法、又はバックアップを削除するやり方を紹介します。

iTunesでバックアップを確認・削除

1 iTunesを起動します。メニューで「編集」 > 「環境設定」をクリックします。

出てきた画面で「デバイス」を選択します。

これでiPhoneのバックアップとその作成の日付を確認できます。

不要のバックアップを削除したい場合は、バックアップを選択し、「バックアップを削除」というボタンをクリックします。

iTunesのバックアップ場所。フォルダでバックアップを削除

「iTunesのバックアップ場所はどこ？」という方はいますね。答えは以下です：

Windows 7,8,10の場合：

iPhoneのバックアップ場所を3つの方法で探せます。

- こちらのフォルダのパスを使用できます：
C:\Users\ユーザー名\AppData\Roaming\Apple Computer\MobileSync\Backup\
「ユーザー名」をログインしているユーザーアカウントの名に変更してください。
- エクスプローラーを開き、フォルダのでアドレスバーに「%appdata%」を入力し、Apple Computer>MobileSync>Backupを開きます。
- Windows10の場合は、検索ボックスに「%appdata%」を入力し、Apple Computer>MobileSync>Backupを開くこともできます。

検索ボックスが表示されなかったら、[Microsoftのサポート](#)を参考してください。

Windows10のiTunesマイクロソフトアプリの場合：

こちらのフォルダのパスを使用できます：C:\Users\ユーザー名\AppData\Roaming\Apple Computer\MobileSync\Backup\
「ユーザー名」をログインしているユーザーアカウントの名に変更してください。

フォルダでのバックアップは以下の形で表示されます：

手動的にバックアップを削除するには、バックアップフォルダを右クリックし、削除を選択します。

バックアップを確認できるソフトウェア

パソコンにはたくさんファイルが入っているので、バックアップ場所を探すのが大変難しいですね。探せた場合にも、どんなデータが無事にバックアップできたのかもわかるのは不可能です。iPhoneバックアップを確認するため、特別なソフトウェアを使ったほうがいいと思います。お勧めは、[CopyTrans Backup Extractor](#)という使用しやすいツールです。

CopyTrans Backup Extractorを使うと、バックアップ内容のファイルを確認するだけでなく、必要なファイルをバックアップからPCに抽出するも可能です！

CopyTrans Backup Extractorをダウンロード

PCでバックアップを確認する方法は、「[とったiPhoneバックアップを確認する方法](#)」の記事をご覧ください。

iTunesバックアップ先を変更する理由は

iTunesはバックグラウンドでiPhoneやiPadのバックアップを作成します。iOSバックアップファイルは非表示となり、簡単にアクセスすることもできませんが、Cドライブの領域はかなり占有されています。すなわち、パソコンの空き領域がいきなり少なくなってしまいます。

iOSバックアップファイルにはアプリ内ファイル・書類、デバイス設定、カメラロール写真などのデータが含まれます。これらのデータは大事なので、別の場所に保管しましょう。

【自動的】 iTunesのバックアップ先を変更

1 CopyTrans Shelbeeをこちらからダウンロードします。インストール方法については[インストールガイド](#)をご覧ください。

CopyTrans Shelbeeをダウンロード

2 CopyTrans Shelbeeを起動後、下記のような画面が表示されたら、そのまま「ツールボックス」をクリックします。（デバイスを接続する必要はありません。）

3 iTunesバックアップフォルダの移動画面になります。その下の「移動先」の項目をクリックし、新しいバックアップ先を指定します。「スタート」をクリックします。

4 進行状況が表示されます。

5 この画面が表示されれば、iTunesバックアップ先の移動完了です。

【手動的】 iTunesのバックアップ保存先を移動

こちらの手順は、パソコン上級者向けです。

1 iTunesのバックアップが保存してあるフォルダにアクセスします。Windows 7以降の場合、スタートメニューの「Windowsを検索」で「%APPDATA%\Apple Computer\MobileSync」を入力します。

2 iTunesバックアップフォルダをドラッグ&ドロップで新しい保存先に移動します。

3. iTunesバックアップフォルダを削除または名前を変更します。

4. 保存先でSHIFTキーを押しながら、右クリックして「コマンドプロンプト・PowerShellウィンドウをここに開く」を選択します。

すると現在のフォルダにコマンドプロンプトが実行されます。

5. コマンドプロンプトで以下のコマンドを入力します。こちらの例では、E:\はiTunesバックアップの新しい保存先で、「Backup」はバックアップフォルダ名です。

```
mklink /J "%APPDATA%\Apple Computer\MobileSync\Backup" "E:\Backup"
```

重要： **mklink**はWindowsでシンボリックリンク（ショートカットのようなもの）を追加するためのコマンドです。 **/J**コマンドはディレクトリジャンクションを作成します。

6. 戻り値が成功なら、シンボリックリンクの作成は完了です。

7. 変更前のiTunesバックアップ先で「Backup」フォルダのショートカットが表示されます。

8. こちらのショートカットをクリックすると、E:/に保存される「Backup」フォルダが表示されます。

関連する記事

- [とったiPhoneバックアップを確認する方法](#)
- [iPhoneのバックアップを外付けHDDに保存する方法](#)
- [iTunesライブラリを別のハードドライブに移動する方法](#)
- [iPhoneバックアップを削除する方法](#)
- [iPhoneのバックアップを復元できないときの対処法](#)

By Julia

CopyTransの日本部門を担当しています。CopyTransのプログラムに関してご遠慮な
copytrans@copytrans.jp

く までお問い合わせください。大好きな本は森見登美彦の『ペンギン・ハイウェイ』
です。ビデオゲームに深い興味があります。

□ □ □ □

CopyTrans - 最終更新 28 1月 2019.

© CopyTrans 2004 - 2020.

All rights reserved (us5).

[弊社について](#)

[利用規約](#)

[プライバシーポリシー](#)

[返金ポリシー](#)

[制限解除コードを取得する](#)

[日本語](#) ▲